

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月29日

協議会名: 紀の川市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
和歌山バス那賀(株)	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経由: 打田駅ほか)の運行	・市内高校へMM(時刻表配布等)実施継続。 ・網形成計画に基づき、利用促進等を実施。本自己評価期間中(令和元年10月1日～令和2年9月30日)の間、6回に渡って住民説明会や意見交換会等を開催。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	粉河那賀路線では、年間利用者数目標を14,807人としていたが、実績は12,211人であった。	新型コロナウイルスの影響で利用者数が前年比の約82.7%に減少した。令和3年10月を目処にダイヤ改正を予定しており(新型コロナウイルスの影響で令和2年秋より1年延期)、地域住民との意見交換等を重ね、持続可能な地域公共交通網の形成を目指すとともに、可能な範囲で利便性の維持に努める。
和歌山バス那賀(株)	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市役所(経由: 粉河駅ほか)の運行		A	同上	B	同上	同上
和歌山バス那賀(株)	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市役所～垣内(経由: 貴志駅ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線		A	同上	B	桃山路線では、年間利用者数目標を11,635人としていたが、実績は9,782人であった。	新型コロナウイルスの影響で利用者数が前年比の約84.3%に減少した。令和3年10月を目処にダイヤ改正を予定しており(新型コロナウイルスの影響で令和2年秋より1年延期)、地域住民との意見交換等を重ね、持続可能な地域公共交通網の形成を目指すとともに、可能な範囲で利便性の維持に努める。
和歌山バス那賀(株)	(桃山路線) 桃山鞆淵コース 紀の川市役所～下志賀(経由: 和田ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線		A	同上	B	同上	同上